



表面処理技術から未来を創造する

第60期・2020年3月期 第2四半期決算説明資料

株式会社 JCU

東証 1 部 4975

2019年11月1日(金)



2020年3月期2Q累計 業績概況

当社決算の概況

〈2Q会計期間〉

JCU(単体) → 4月 - 9月

海外子会社 → 1月 - 6月

《電子部品分野向け》

- 5G商用化に向けた回復の兆しはあったものの、スマホは買い控えが継続
- 韓国においては半導体市場の低迷、在庫調整が継続したことで、パッケージ基板向け薬品の需要が減少
- 売上高は前年同期に比べ軟調に推移

《自動車分野向け》

- 国内は自動車部品メーカーの稼働が全体的に低調
- 海外は中国において、新規獲得はあったものの、米中貿易摩擦の影響を受け、生産稼働が鈍化、国内外ともに、薬品の販売はほぼ横ばいに推移

《装置事業》

- 装置は、大型案件の減少に加え、進行中の工事が遅れたことで、売上は大幅に減少

2020年3月期2Q累計 業績概況

【連結】

(単位：百万円)

決算期	2018年3月期 上半期	2019年3月期 上半期	2020年3月期 上半期		
	実績	実績	予想	実績	対前年同期 増減率
売上高	10,255	13,078	11,400	10,184	▲22.1%
営業利益	3,108	3,427	3,000	2,919	▲14.8%
経常利益	3,060	3,495	3,100	2,869	▲17.9%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,248	2,559	2,150	2,027	▲20.8%
1株当たり 四半期純利益	80円82銭	91円95銭	79円40銭	74円88銭	—

為替レート

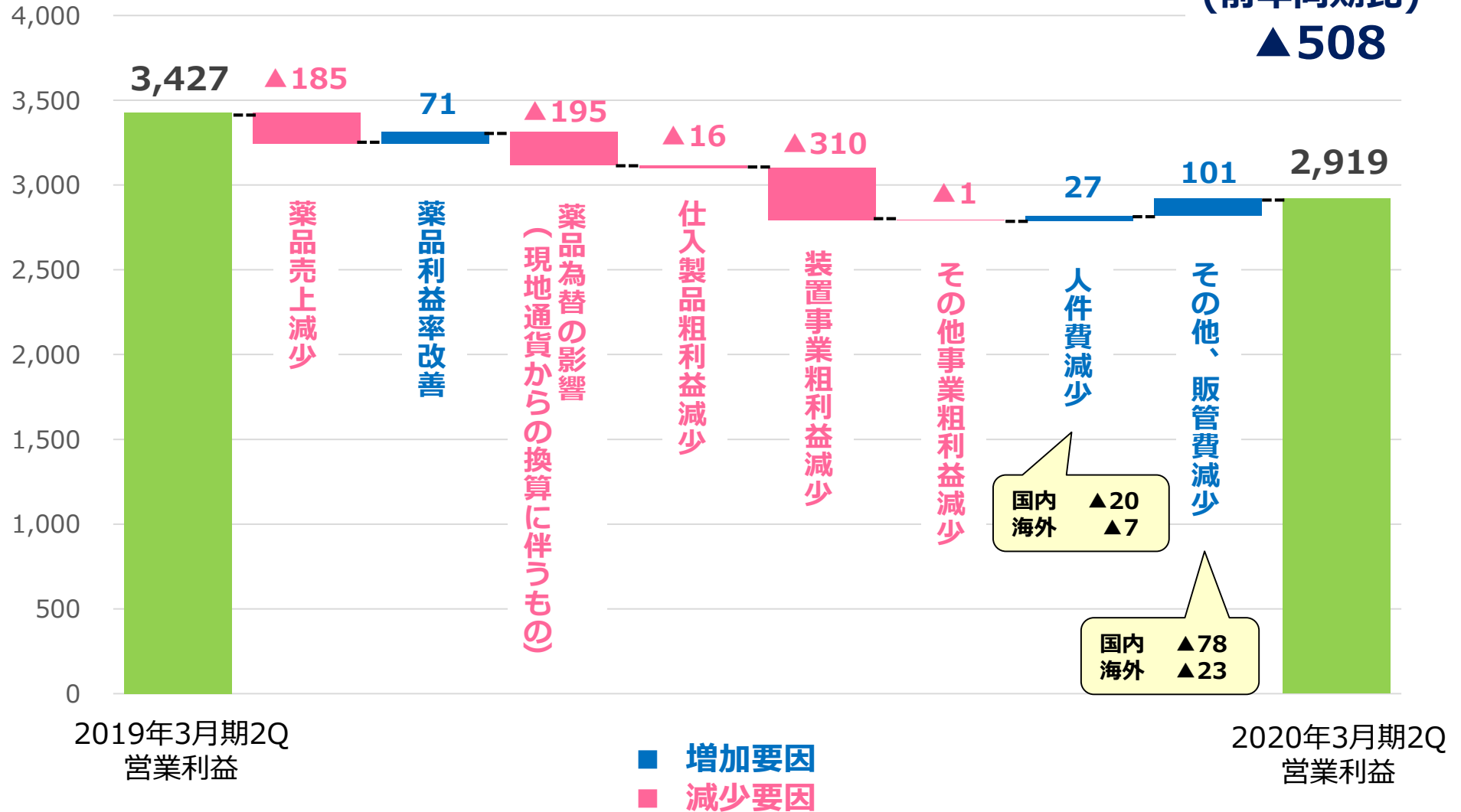
(単位：円)

	2019年3月期				2020年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
中国 人民元 (C N Y)	17.05	17.09	16.85	16.72	16.32	16.20
台 湾 ド ル (T W D)	3.70	3.68	3.67	3.67	3.58	3.55
韓 国 ウ オ ン (K R W)	0.1010	0.1011	0.1005	0.1004	0.0980	0.0961

(注) 当社の主要な外国通貨は、中国 人民元・台湾ドル・韓国ウォンであり、いずれも、期中平均レートを採用しております。

2020年3月期2Q累計 連結営業利益 増減内容

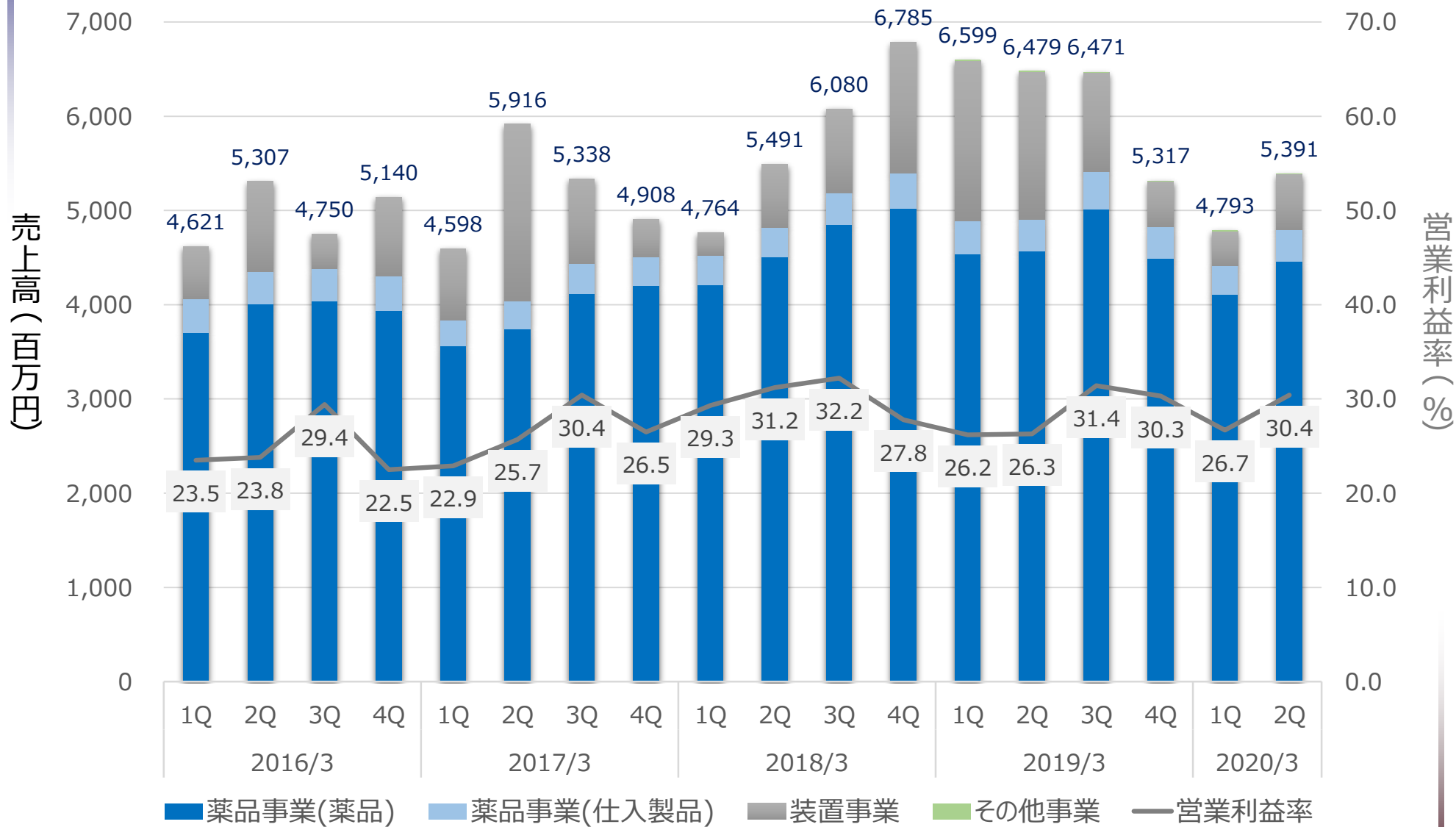
(単位：百万円)



四半期別 連結業績の推移

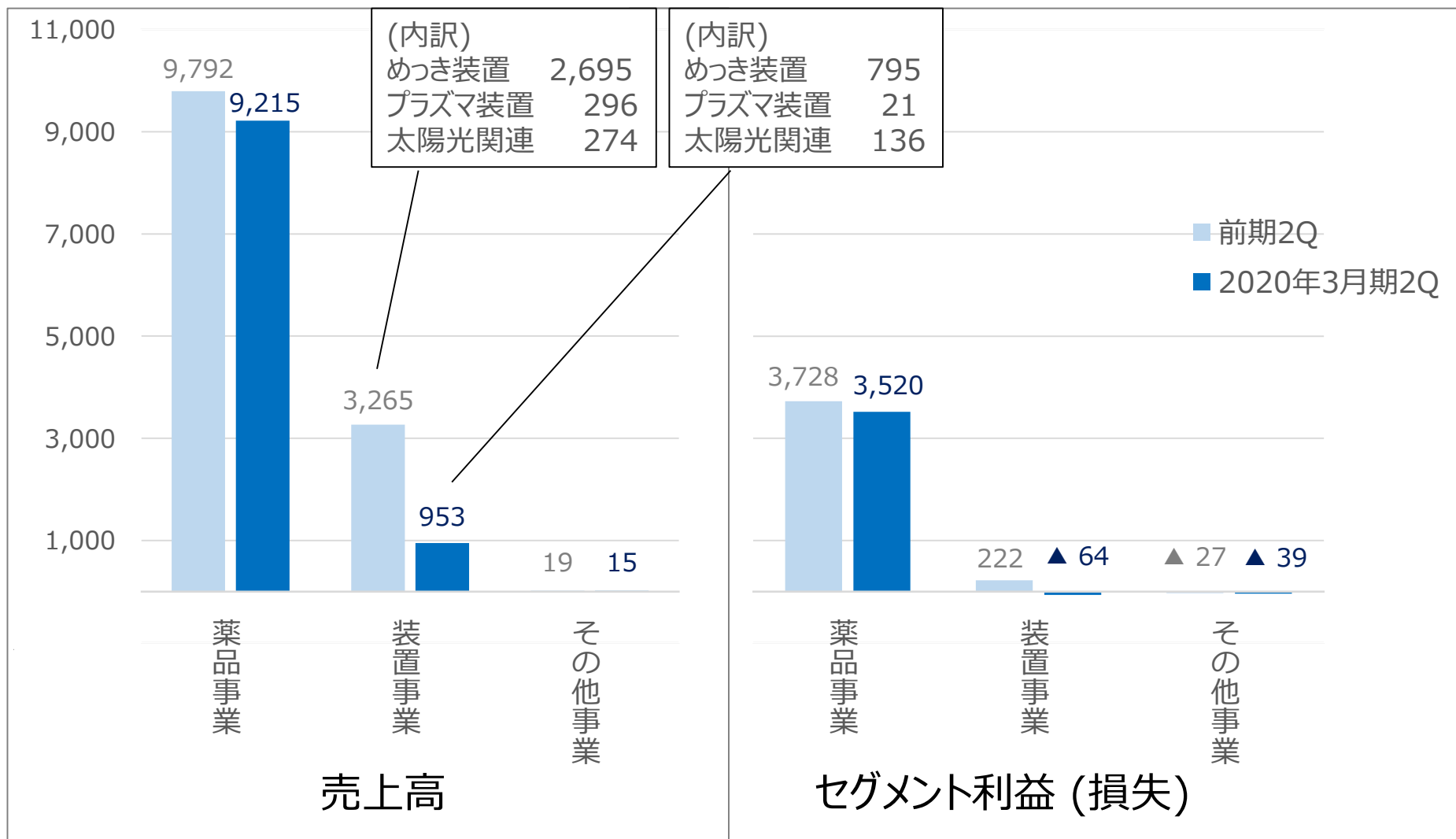


四半期別 連結業績の推移



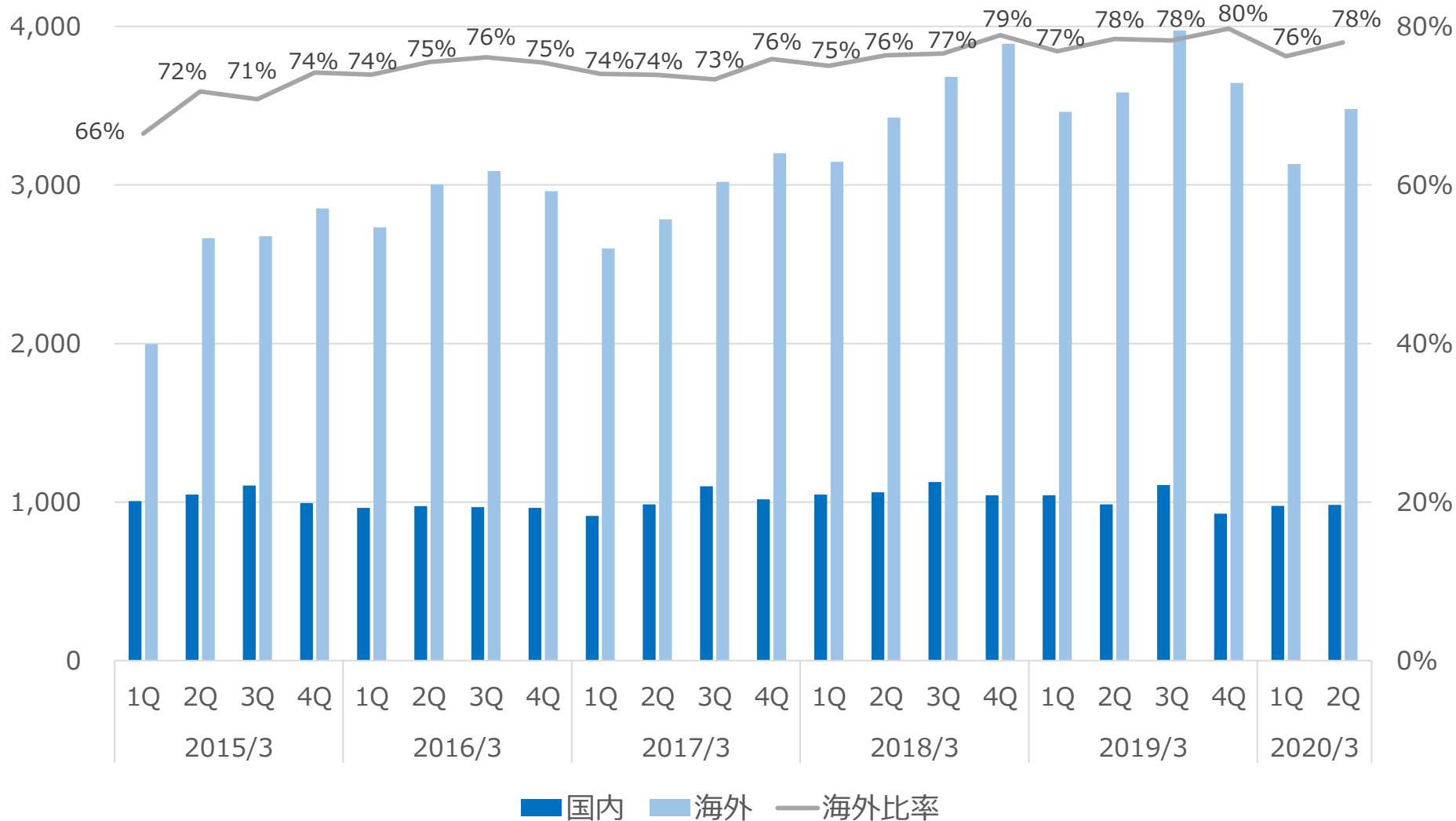
2020年3月期2Q累計 連結セグメント業績

(単位：百万円)



四半期別 国内外薬品売上高推移

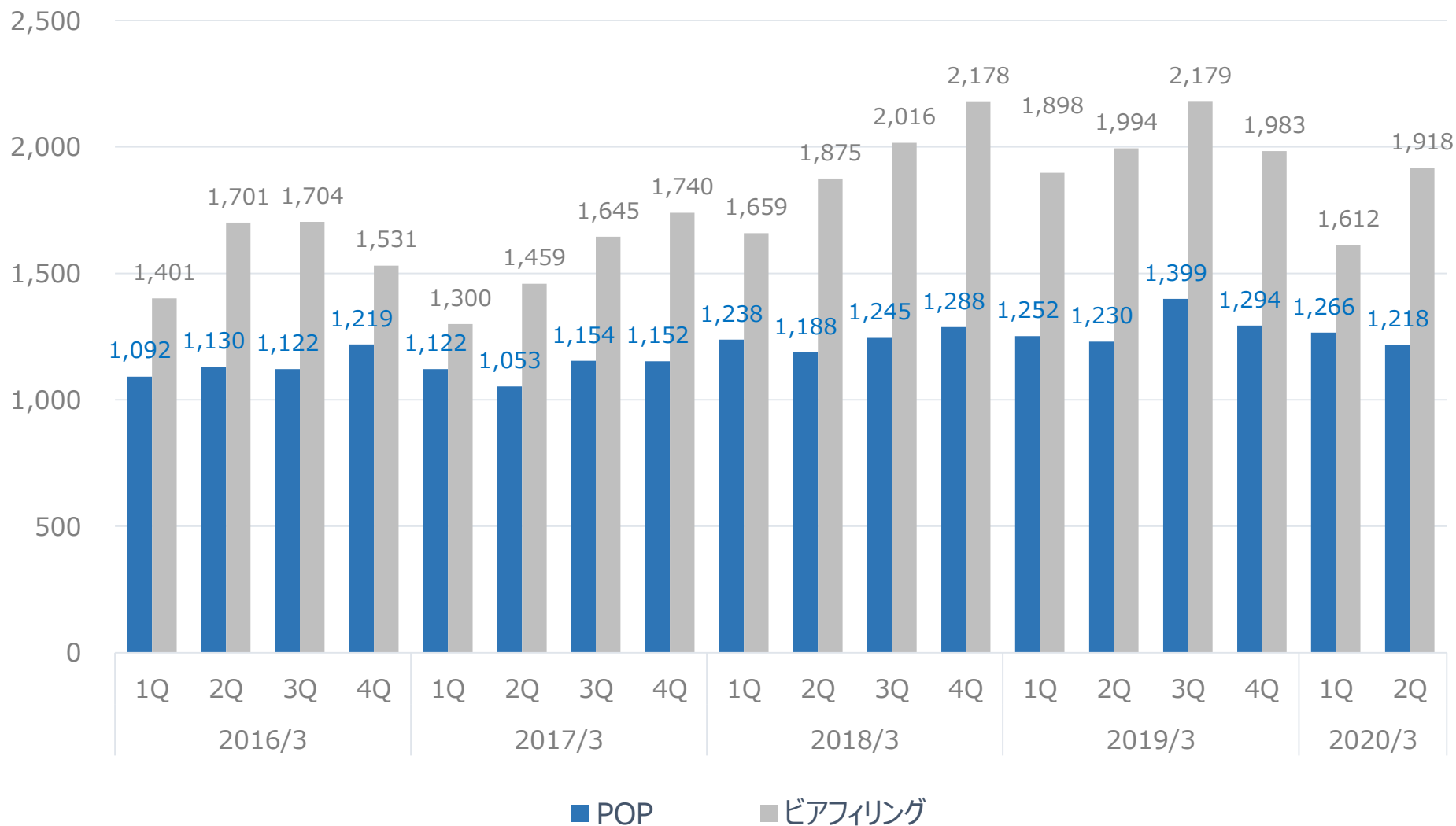
(単位：百万円)



四半期別 POP、ビアフィリング用薬品の売上高推移

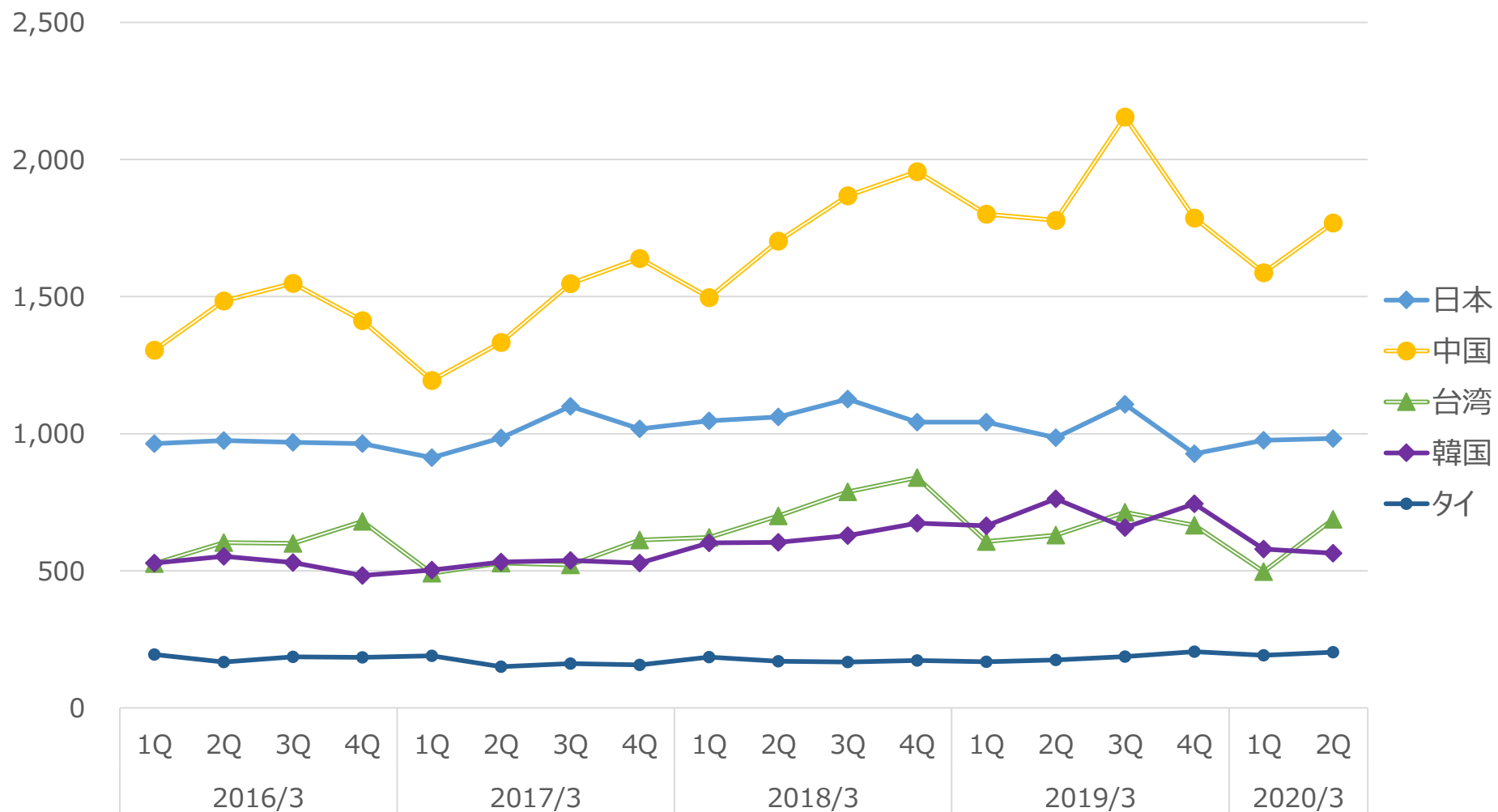
(単位：百万円)

POP (Plating on Plastics) … プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け
 ビアフィリング…プリント配線板向け銅めっき添加剤、主にスマートフォン、PC等



四半期別 地域別薬品売上高の推移

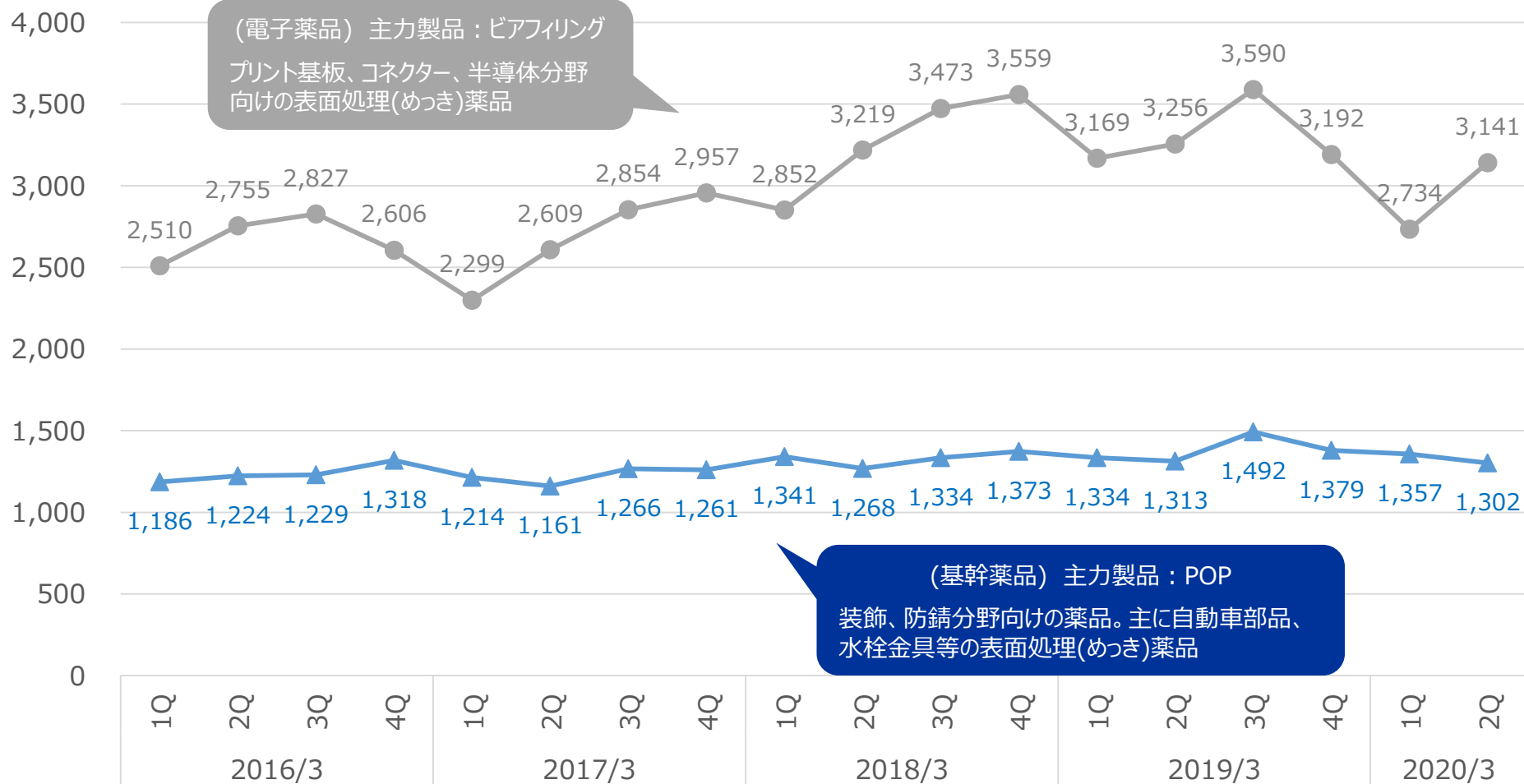
(単位：百万円)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

連結

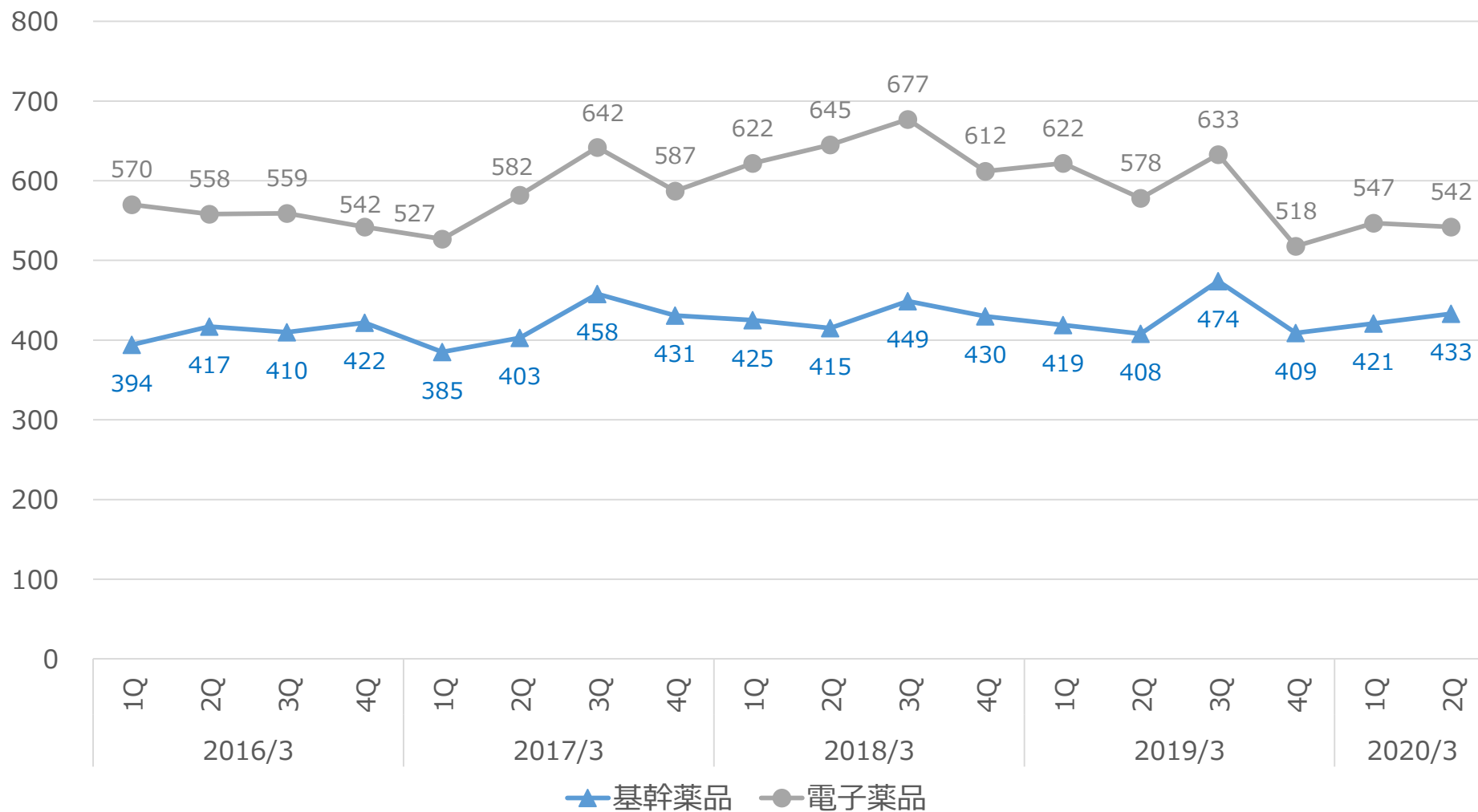


▲ 基幹薬品 ● 電子薬品

四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

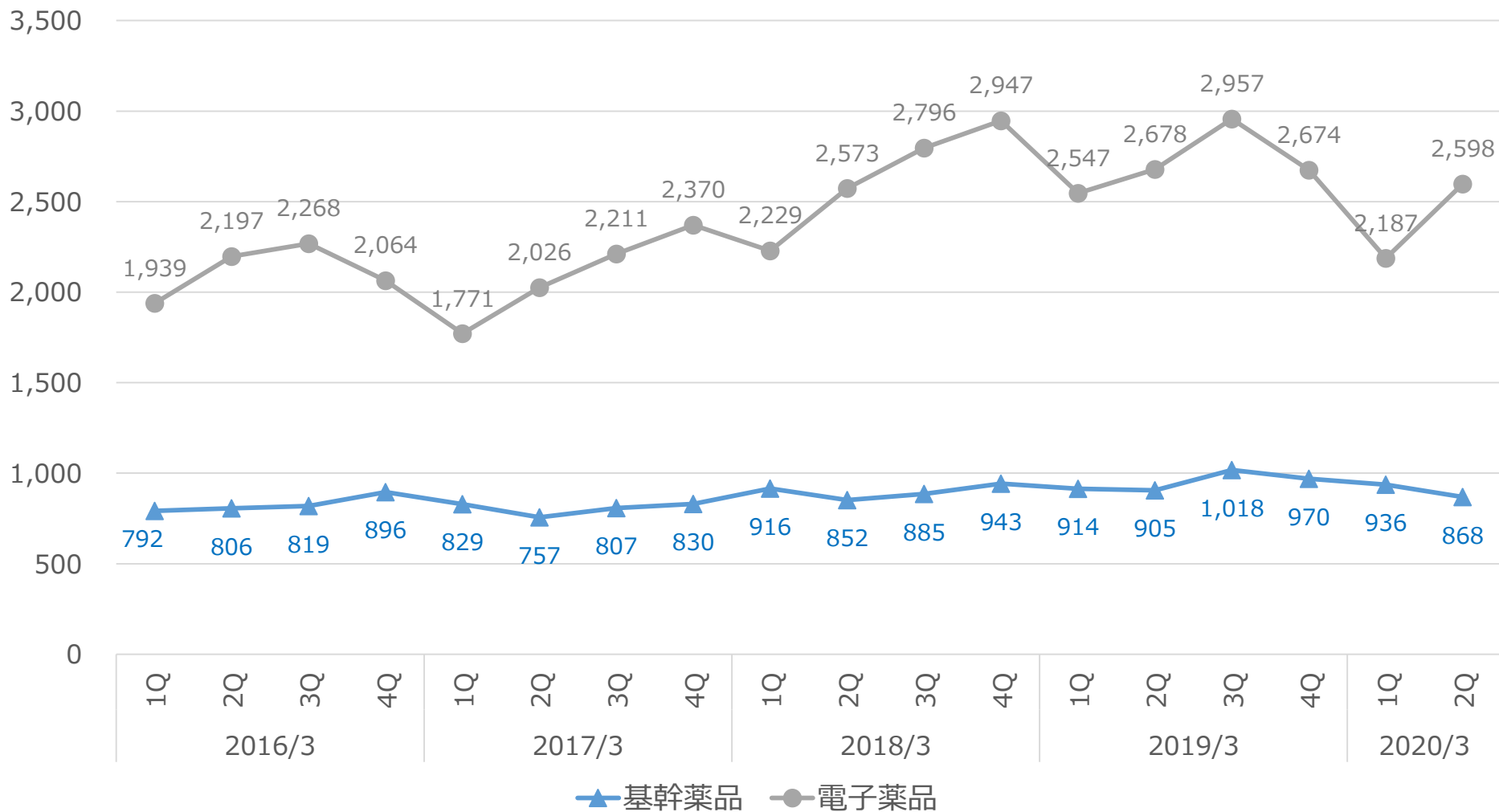
国内



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

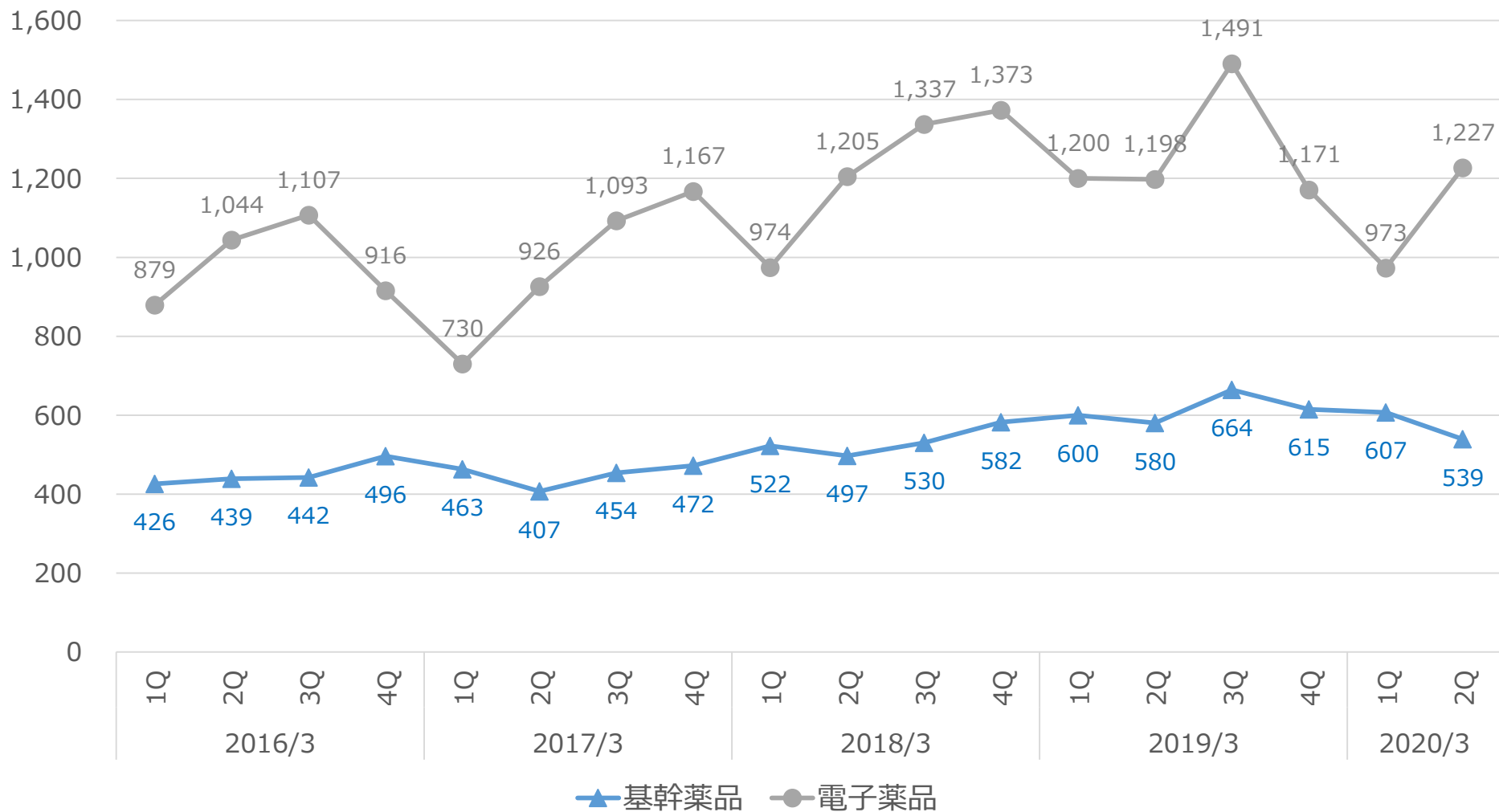
海外 (合計)



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

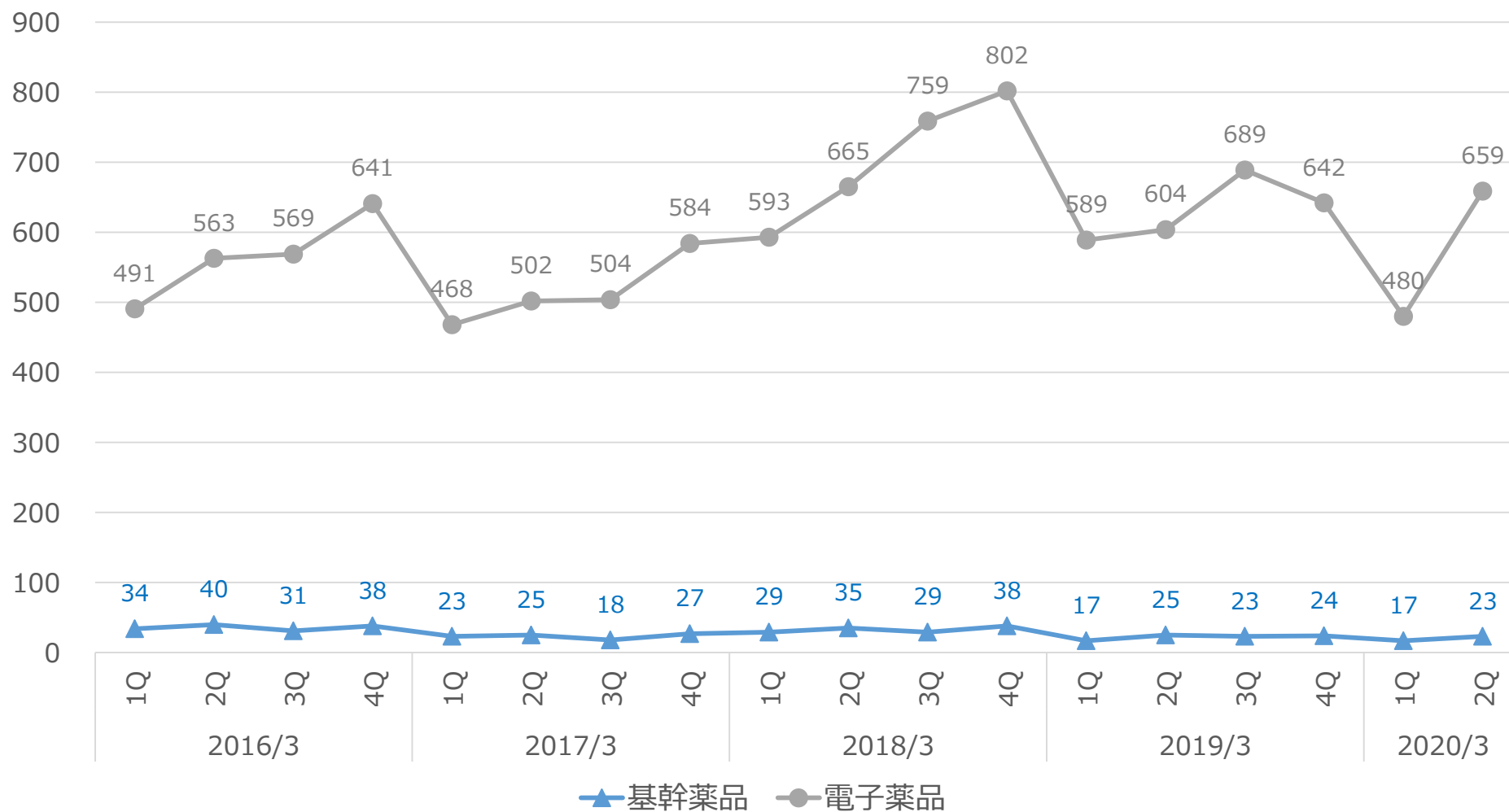
中国



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

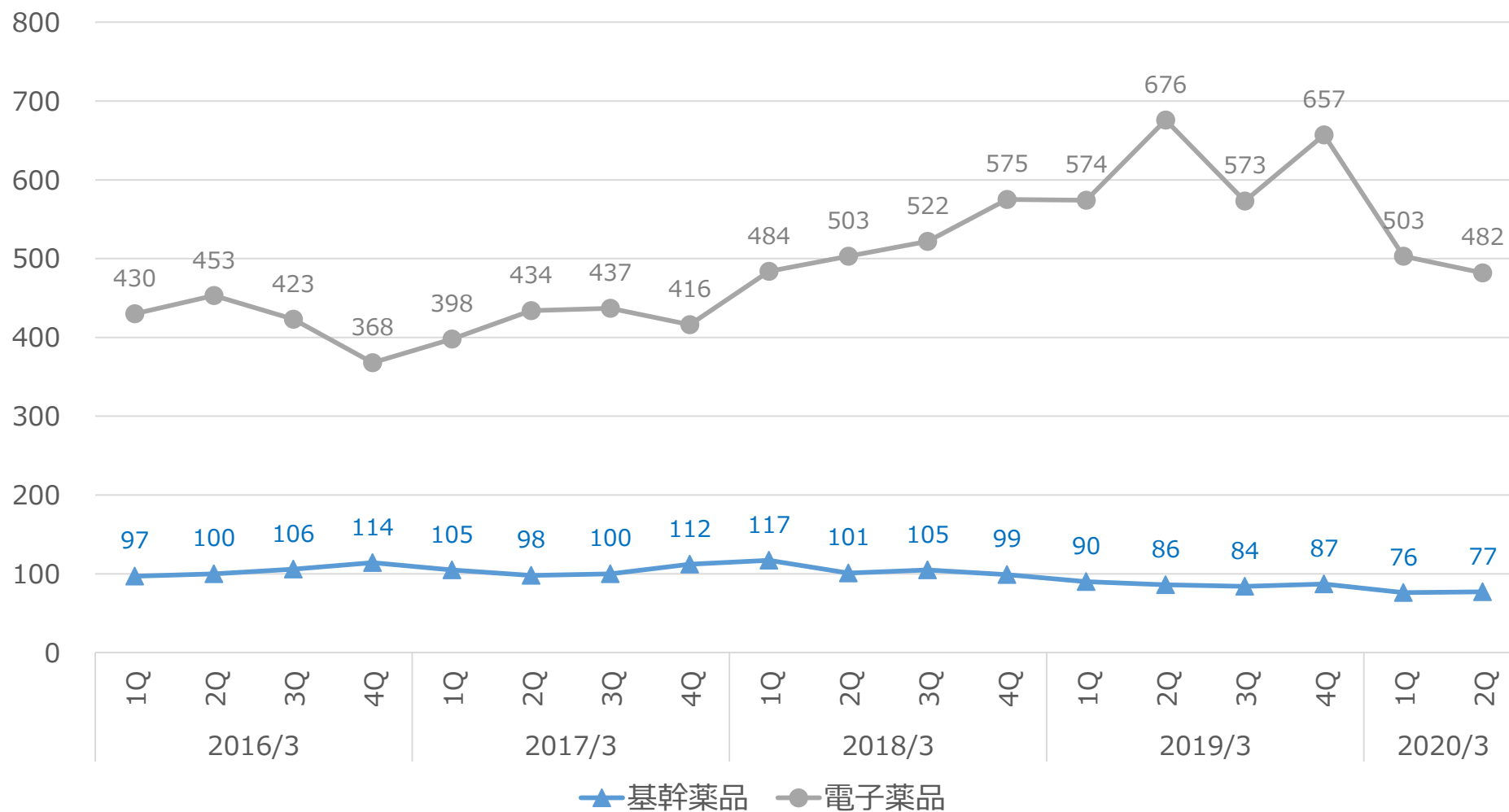
台湾



四半期別 地域別薬品売上高の推移

(単位：百万円)

韓国



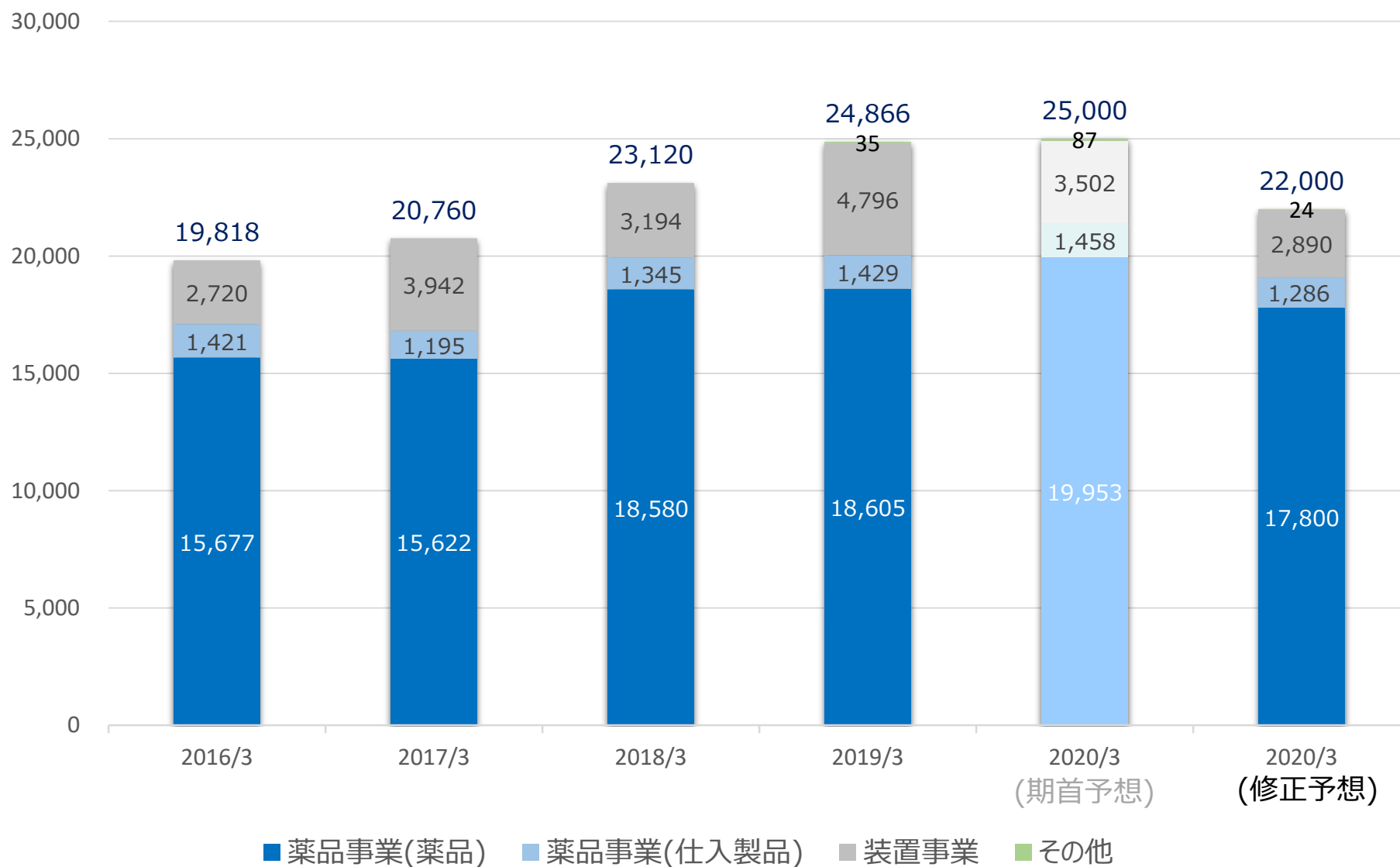
2020年3月期業績予想

(単位：百万円)

2020年3月期	上半期 (実績)	通期 (期首予想)	通期 (修正予想)	通期修正予想 に対する進捗率
売上高	10,184	25,000	22,000	46.2%
営業利益	2,919	7,200	6,150	47.4%
経常利益	2,869	7,300	6,100	47.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,027	5,000	4,250	47.6%
1株当たり 当期純利益	74円88銭	184円79銭	157円07銭	—

年度別製品構成別売上高推移（修正予想）

（単位：百万円）



配当予想修正

()内は前期比

		2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期 (期首予想)	2020年3月期 (修正予想)
1 株 当 た り 配 当 金	中間	17.5円	22.5円	23.5円 (1円増配)	23.5円 (1円増配)
	期末	25円 (内：記念配当 2.5円)	22.5円	23.5円 (1円増配)	25円 (2.5円増配)
	年間	42.5円 (内：記念配当 2.5円)	45円	47円 (2円増配)	48.5円 (3.5円増配)

株主優待の廃止について

当社は、当社事業へのご理解を深めていただくこと及び当社株式を長期に保有していただくことを目的として株主優待制度を設けておりましたが、株主の皆様からのご意見及び公平な利益還元を鑑み、配当による直接的な利益還元を行うことが適切な利益還元であると判断し、現行の株主優待制度は廃止させていただくことを決定いたしました。

2020年3月期の期末配当につきましては、当該株主優待の財源を、そのまま配当に引き当てることといたします。

当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけており、今後とも企業価値の向上に取り組んでまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

当社は、持続的な成長を達成するため手元流動性を確保し、安定した財務基盤を維持しつつ、成長投資を継続してまいります。配当は、安定増配基調継続を目指し、配当性向25%目安とすることを基本方針としております。

■ 中期経営計画の進捗

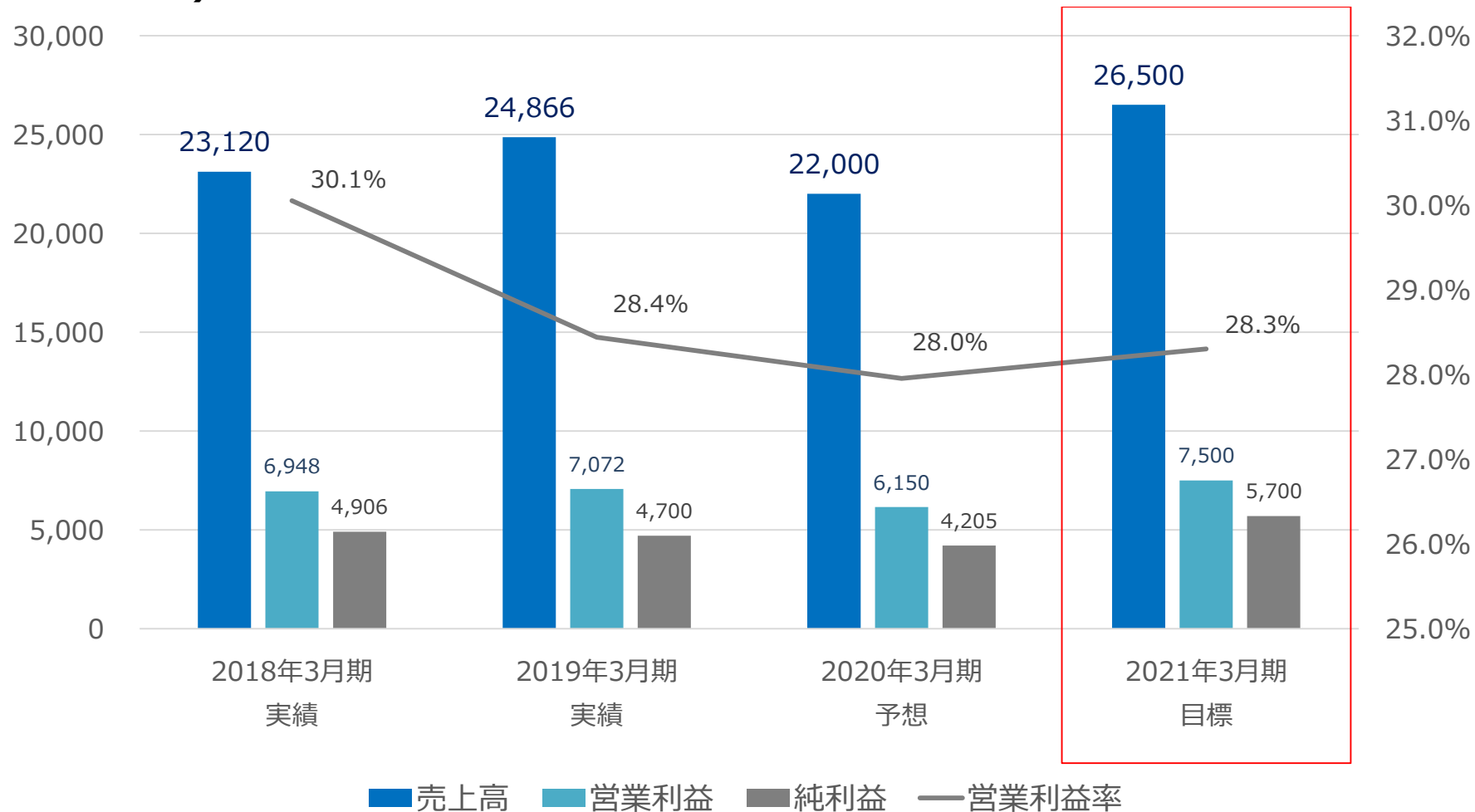
2019年3月期～2021年3月期

■ ESGへの取り組みの現状

中期経営計画 (2021年3月期の定量目標)

中期経営計画最終年度の目標数値は変更無し

(単位：百万円)



目標達成のための戦略（基本方針）

基本方針

○ 薬品事業の競争力強化

これまで
取組んだこと

主力製品の拡販、現地製造品の品質精度向上、マーケティング専属部署の立ち上げ

引続き
取組むこと

製品統廃合による製造コスト・生産性向上の見直し。人材教育による技術営業力、開発力の底上げ

◎ 海外市場でのさらなる成長

これまで
取組んだこと

中国： 新規お客様の獲得、湖北工場およびテクニカルセンターの建設(11月完成予定)
米国： 環境規制に対応した新製品の開発、米国自動車メーカーとの関係構築
インド： 営業強化、展示会出展による知名度向上
欧州： POPを中心に主要企業の調査、市場参入の検討

引続き
取組むこと

中国： 湖北工場およびテクニカルセンターを稼働させ、更なるサポート体制の充実を図る
米国： 環境規制の情報収集、および対応技術の開発を継続
インド： 人員増による営業力強化
欧州： 市場参入の検討を継続

△ 次世代技術開発と早期市場投入

これまで
取組んだこと

5G対応技術、環境規制に対応した製品の開発

引続き
取組むこと

車載基板向け薬品の改良および拡販
新製品の早期市場投入・市場定着、21年3月期の売上高に占める新製品の比率目標：10%
(2019年3月期の実績：7.3%)

目標達成のための戦略（基本方針）

基本方針

△ 攻めの装置事業

これまで 取組んだこと	ロール to ロール式無電解Ni装置および薬品の受注、納入
----------------	-------------------------------

引続き 取組むこと	ロール to ロール式無電解Ni装置性能の大幅改良 POP用めっき装置納入後のメンテナンス事業の強化
--------------	---

△ 新規事業における新市場・新分野への挑戦

これまで 取組んだこと	太陽光発電設置事業のアジア諸国への展開調査、海外販売体制の構築 表面処理技術における同業他社との協業検討
----------------	---

引続き 取組むこと	太陽光発電設置事業のアジア諸国での拡販 プラズマ装置を使用した「ドライプロセス」とめっき薬品を使用した「ウェットプロセス」の融合 M&Aなど、新分野への投資による第3の柱となる事業の検討
--------------	---

○ 経営基盤の整備と意識改革

これまで 取組んだこと	社外取締役の比率増による経営の透明性向上、および女性監査役の投入 働き方改革の推進、コスト低減意識改革の推進 コンプライアンス教育の充実による社員意識強化 人事制度改革の実施、女性社員の重要ポストへの登用による女性活躍の推進 リスク委員会における事業リスクの洗い出しおよび改善、社員のリスク管理意識強化 トキの森クレジットの購入、そらぶちキッズキャンプへの支援によるCSR活動の充実
----------------	--

引続き 取組むこと	コーポレートガバナンスの強化 ESG、SDGs 経営の推進
--------------	----------------------------------

■ 中期経営計画の進捗

2019年3月期～2021年3月期

■ ESGへの取り組みの現状

〈経営基盤の整備と意識改革〉

コーポレートガバナンス・CSR
収益性・事業効率の向上
人的資源(人材育成)

Environment

- ・製品環境の保全
- ・カーボン・オフセット
- ・次期ビジネスの創出



JCUは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

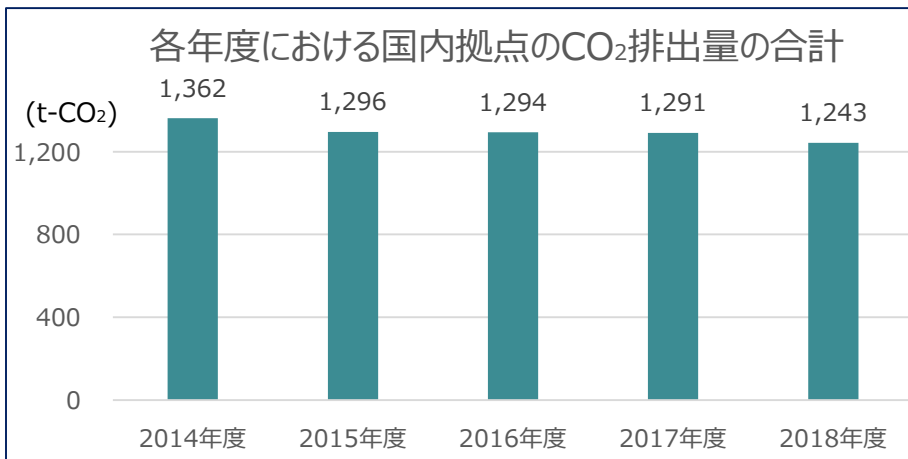
Social

- ・製品サービスの安全
- ・人材育成、環境充実
- ・地域との共生

Governance

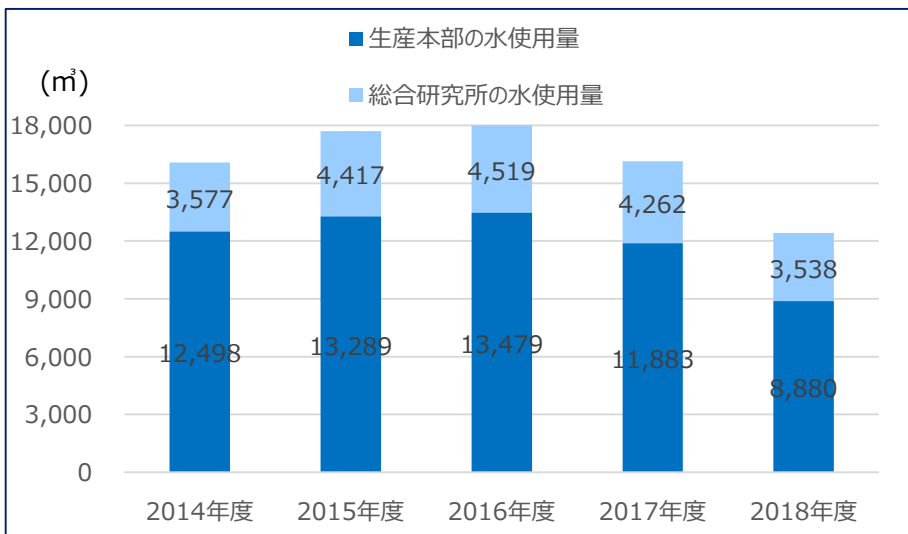
- ・会社の将来像の明確化
- ・経営のモニタリング
- ・ES活動のモニタリング

Environment



新潟県佐渡の「トキの森クレジット」購入による カーボン・オフセットへの取り組み

日常生活や企業活動では、電気やガスなどを使用するためにCO₂が排出されます。そのように排出されるCO₂に対し削減努力をしたうえで、どうしても削減できずに排出されてしまうCO₂の量の全部または一部を、森林整備活動などに資金を提供することで、埋めあわせ（オフセット）しています。



「トキの森クレジット」
シンボルマーク



「新潟県カーボン・オフセット」
シンボルマーク

Social



協賛活動

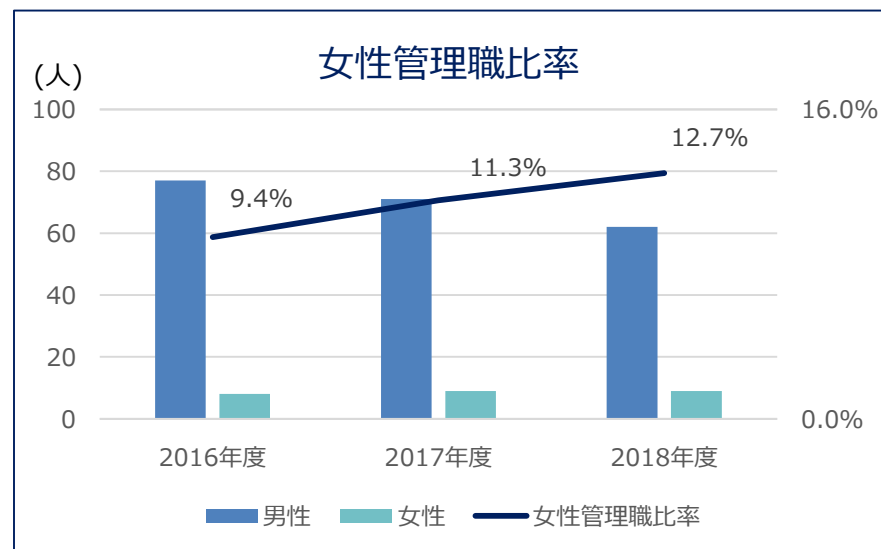
2019年から北海道滝川市の丸加高原にある「そらぷちキッズキャンプ」(<http://www.solaputi.jp/>)への協賛を開始



写真提供：公益財団法人そらぷちキッズキャンプ

ダイバーシティ、働き方改革推進

- 女性管理職比率12.7%
*2019年日本企業平均7.7% (出典：帝国データバンク)
- 5S活動による職場環境の改善



ESGへの取り組みの現状

Governance

取締役会の主な役割

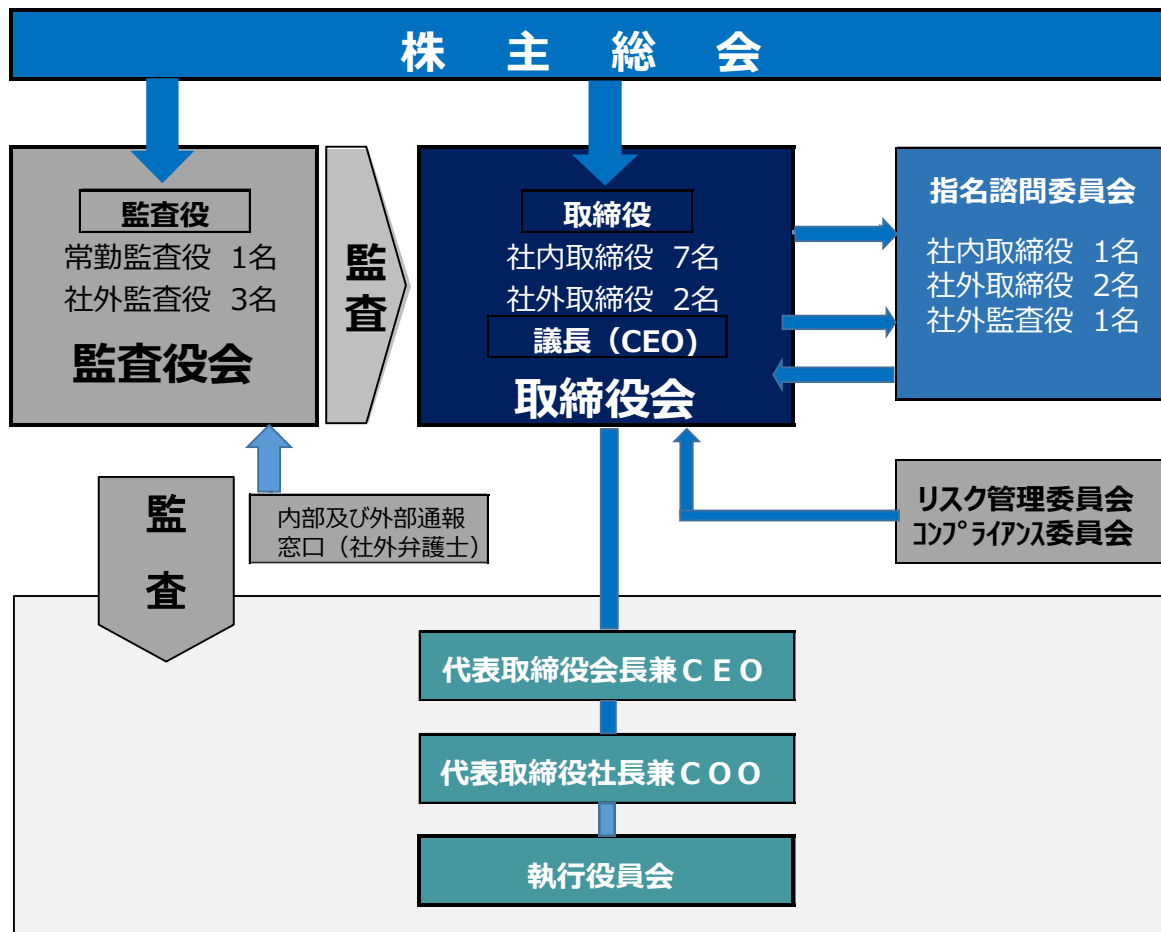
- ・経営のモニタリング
執行役員の業務執行状況のPDCAをモニタリング
- ・幅広い経営経験をもつ社外取締役による会社の方向性の助言
- ・法曹界出身社外取締役によるコンプライアンス、適法性モニタリング
* ES活動状況を含む

監査役会の役割

- ・会計、財務、法務に精通した社外監査役および業務に精通した常勤監査役による内部統制システムを中心とした監査体制

指名諮問委員会

- ・社外取締役を委員長とする体制強化



〈参考資料〉

- 会社概要
- 主な商流
- 主な製品



会社概要

創業 : 1957年 12月

設立 : 1968年 4月 1日

資本金 : 12億2,025万円

年商 : 単体 137億円 連結 248億円 (2019年3月期末)

本社所在地 : 東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 16階

業務内容 : 表面処理薬品、表面処理装置及び関連資材の製造・販売

代表者 : 代表取締役会長兼CEO 小澤 恵二
代表取締役社長兼COO 木村 昌志

従業員数 : 単体 255名 連結 571名 (2019年3月末現在)

ISO認証取得

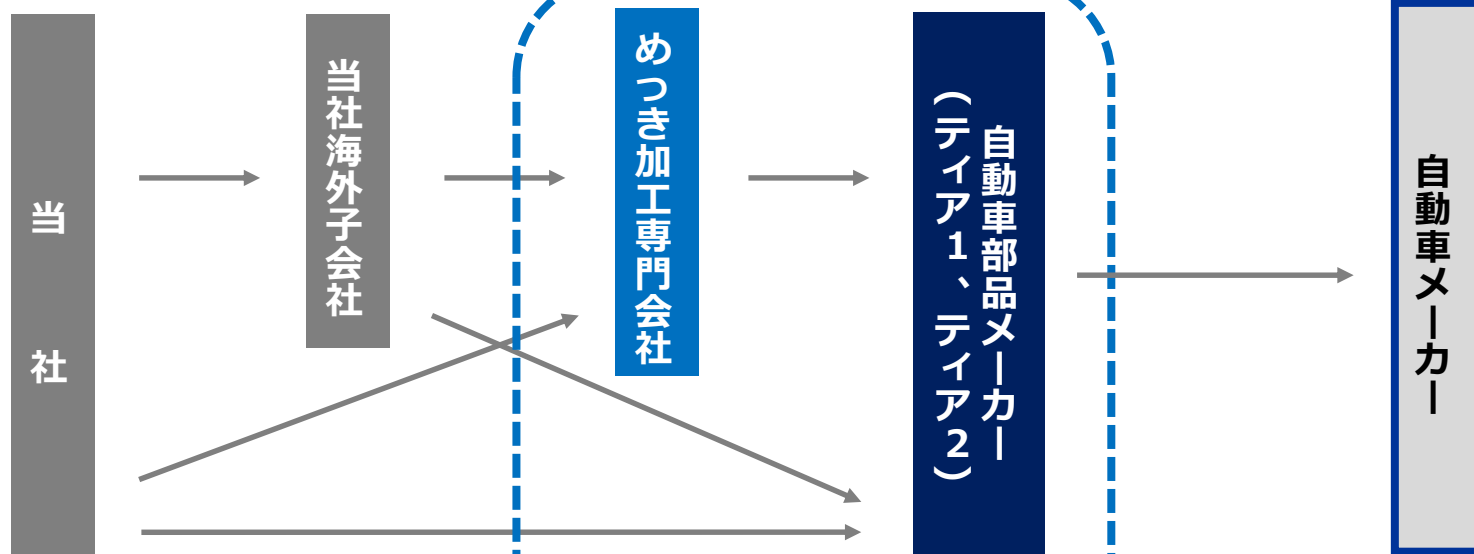
ISO9001 生産本部・薬品調達課・本社営業部・総合研究所 JCQA-0281

ISO14001 生産本部・総合研究所 JCQA-E-0143

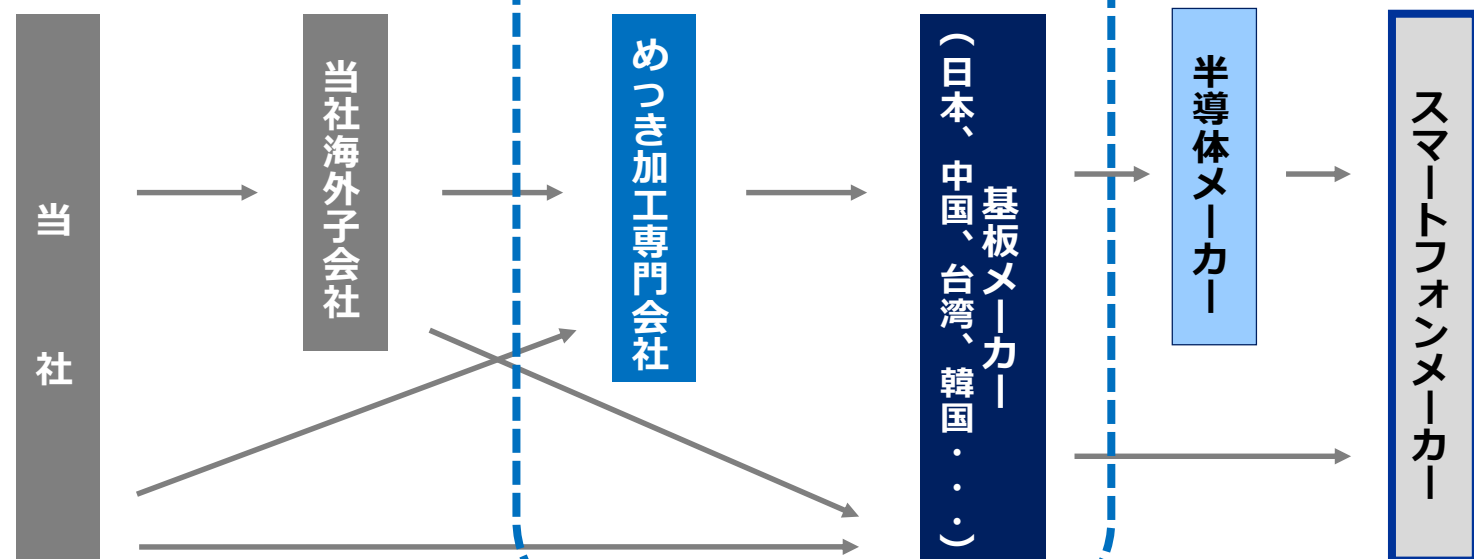
主な商流

顧客（販売先）

自動車



スマートフォン



主な製品

薬品事業	装飾・防錆分野向け (基幹薬品)	自動車部品 (フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等) 水栓金具 (給水機器、シャワーヘッド、排水栓等) 建築部品 (ボルト、ナット等)
	電子分野向け (電子薬品)	プリント配線板 (両面板、多層板、ビルドアップ配線板、パッケージ基板等) 電子部品 (リードフレーム、チップ部品、コネクタ等) 半導体 (シリコンウエハー)

装置事業	全自動表面処理装置	素材の投入からめっきの完成まで自動運転をする装置
	付帯機器	表面処理装置に付随する、ろ過機等の付帯機器の製造販売
	自動分析管理装置	めっき液の濃度を分析し不足分を補給して、自動で管理する装置
	プラズマ装置	プリント配線板のめっき前処理用等の洗浄処理装置
	太陽光発電装置	太陽光発電装置(パネル)の設置・施工

事業その他	天然水	当社ブランド「富士桜長命水」の販売
	ワイン	ワインおよびブドウ苗木の生産、販売

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



当社ホームページ：
<https://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先：経営戦略室
TEL: 03-6895-7004